



エコアクション21[®]
認証番号0000439

環境経営レポート 2018

(2018. 04. 01~2019. 03. 31)



コンピュータニクス株式会社

2019年5月30日発行

Ver1.1

 **Computronics**

ご挨拶

目次

1. 会社概要
2. 対象範囲(実施体制、役割・責任・権限)
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標(中期目標)
5. 環境経営計画
6. 環境経営目標・計画 2018年度実績
7. 環境経営計画・目標の取組評価と次年度の取組
8. 環境関連法規の遵守状況と違反、訴訟の有無
9. 代表者による全体評価と見直し

ご挨拶

1970年。

国産コンピュータの開発を推し進めるべく通産省主導で発足した国家的プロジェクトが当社創業の起源です。

当社の事業活動は、企業理念「顧客が求める情報システムを提案し開発する」をベースに、携帯電話をはじめ情報家電分野でのエンベデッドシステム開発について豊かな業務経験があります。

〔企業理念〕

顧客が求める情報システムを提案し、開発する

〔経営指針〕

社会に認められる企業：

高度な技術力を武器に、顧客に対し質の高いサービスを提供する

社員の幸せを願う企業：

企業活動の効率的な成果を踏まえ、社員の物心両面の豊かさの向上を図る

成長し続ける企業：

一人一人の社員の自主性や能力を高めること、それが会社成長の基本である。

〔行動規範〕

Creative(創造的)

人は、常に新しい何かを求め続ける。

Challenging(挑戦的)

人は、何かに挑戦しているとき、一番輝いて見える。

Capable(成し遂げる力)

人は、何かを成し遂げたとき成長し、他人からも評価される。

Considerate(思いやる気持ち)

人は、他人を思いやる心、物事に対する深い洞察力を持つことにより完成する。

弊社は、2005年7月11日に“エコアクション21”の認証を取得し、企業活動を通じて、地球環境の負荷軽減のための省資源・省エネルギー活動を推進し、環境保全・汚染予防に取り組んでいます。

2015年には認証取得して10年という活動期間が過ぎました。

今後更なるスパイラルアップを目指して環境活動を推進します。

コンピュータニクス株式会社

代表取締役 北田 孝志



1. 会社概要

事業所名	コンピュータロニクス株式会社
代表者氏名	代表取締役 北田 孝志
所在地	東京都中央区東日本橋3-4-14 TEL:03-3667-4133 FAX:03-3667-4863 http://www.computronics.co.jp/
環境管理責任者	取締役 総務部長 鵜 康雄
担当者及び連絡先	総務部 久保田 由理
事業内容	組込系・業務系ソフトウェアの設計・開発・検証及び関連サービス (保守・メンテナンス・コンサルティング)
取得ISO	ISO/IEC 27001:2013/JIS Q 27001:2014 (ISMS) 初回登録日:2006年12月21日

事業活動の規模の推移

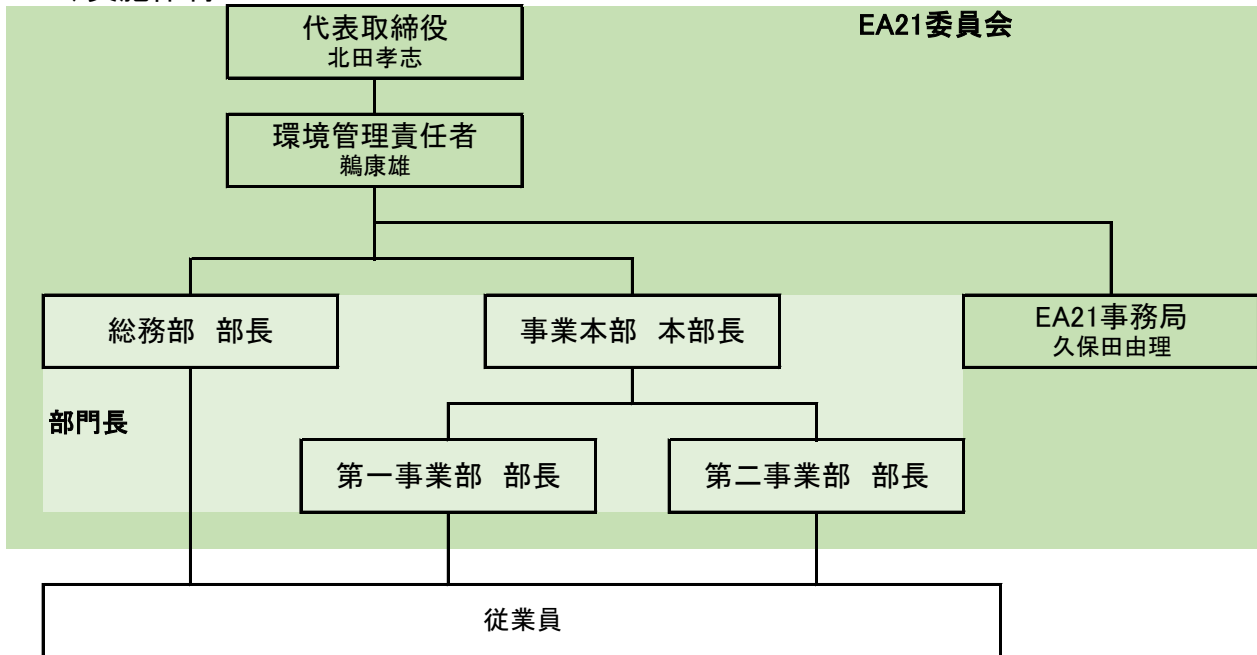
活動規模	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	百万円	449	501	530	517
従業員	人	52	56	58	62
床面積	m ²	125.4	125.4	125.4	125.4

注)従業員・床面積は期央の数値

2. 対象範囲(実施体制、役割・責任・権限)

全社、全従業員

1) 実施体制



2) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの総責任者 ・環境経営方針を定める ・環境管理責任者を任命する ・資源の用意する ・システムの評価と見直しを行い、必要な指示を環境管理責任者に行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標及び環境経営計画等を承認する ・代表取締役に代わり環境経営システム全体の構築・運用に対する責任と必要な権限を持つ ・緊急時における対応を指示する ・内部・外部コミュニケーションの(苦情等)に対応する ・環境経営システムの全般の運用を監視し、取組を評価する ・環境経営システムの運用状況を、代表取締役に報告する
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの運用を推進する ・月一の運営会議で情報を共有する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標及び環境経営計画を策定する ・教育訓練・目標計画を策定する ・環境負荷と原因となる活動を特定する ・各種報告書を作成する ・環境経営レポートを作成して公開する ・関連法規・条例等を管理する ・文書及び記録を作成・管理する ・外部からの問い合わせに対応する ・是正・予防措置を検討する
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画を従業員に周知する ・部署に関連する法規等を従業員に周知し、遵守させる ・問題発生時の是正・予防処置報告書を作成する
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標、環境活動内容の理解・把握し、計画を実行する

3. 環境経営方針

<環境理念>

コンピュータロニクス株式会社は、ソフトウェア開発を通じて、

【社会に認められる企業】

【社員の幸せを願う企業】

【成長し続ける企業】

を経営指針とし、環境経営システムを構築し、経営者及び全従業員でエコアクション活動に継続的に取り組み、人や環境に優しい社会の実現に貢献する企業を目指します。

<環境方針>

1. ソフトウェアの開発業務のなかで提案を実施することで、設計から納品までの開発工程における効率化により環境への負荷の低減を継続的に推進します。
従業員の総労働時間の短縮に取組み、環境への負荷の低減に寄与します。
2. 事業活動に関わる全ての領域で、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減に取り組むと共に、資源循環に配慮することを推進します。
3. 環境関連法規を遵守し、環境経営システムと環境保全を継続的に改善することを推進します。
4. 環境教育や広報活動の実施により、当社で働くすべての人に環境方針を周知するとともに、環境活動をレポートとしてまとめ、自社のホームページ上で公開して一般の閲覧を可能にし、地域へのコミュニケーションを図るよう努めます。

改定：2018年 8月1日

制定：2004年10月1日

コンピュータロニクス株式会社

代表取締役 北田 孝志



4. 環境経営目標(中期目標)

項目	単位	基準値 2017年度	目標値 2018年度	目標値 2019年度	目標値 2020年度	目標値 2021年度
二酸化炭素排出量 の削減 * 1	kg-CO2	6,253.85	6,247.68	6,241.50	6,235.33	6,228.68
		基準値	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.4%
電力使用量の 削減	kWh	13,166	13,153	13,140	13,127	13,113
		基準値	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.4%
一般廃棄物排出量 の削減	kg	376.00	376.00	375.00	375.00	374.00
		基準値	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.4%
水使用量 * 2	m ³	8.76	8.75	8.74	8.73	8.72
		基準値	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.4%
グリーン購入	%	90.00	89.91	89.55	89.73	89.64
		基準値	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.4%
従業員の総労働時 間の 短縮(超過時間)	h/月/人	20.00	19.98	19.96	19.94	19.92
		基準値	-0.1%	-0.2%	-0.3%	-0.4%
紙の使用量 * 3	枚	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		基準値	-0.0%	-0.0%	-0.0%	-0.0%

* 1 二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、0.475kg-CO2/kWh

* 2 水使用量はテナントビルにつき、フロア面積配分による

* 3 紙使用量＝購入量で算出 5000枚単位購入何で現状維持とする

過去3カ年の環境負荷実績

		単位	2016年度	2017年度	2018年度
CO2	kg-CO2		6,515	6,398	6,389
(排出係数は該当年度の数值)			(0.500)	(0.486)	(0.475)
総エネルギー使用量	購入電力	kWh	13,029	13,166	13,451
水資源投入量		m ³	9.02	8.75	9.16
一般廃棄物総排出量		kg	446.39	375.7	423.01
産業廃棄物総排出量		kg	0	0	0

5. 環境経営計画

取組目標	活動項目	責任者
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の設定を夏26度、冬22度とし、管理実行する ・UPSの機能保全の対応は継続する ・クールビズ、ウォームビズを実施し、冷暖房使用を抑制する 	EA21事務局
一般廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスから排出されるゴミを分別し、重量を計測する ・新聞配達時に入る広告の配達停止 	EA21事務局
水使用量削減について	<ul style="list-style-type: none"> ・常に節水に努める 	従業員
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品の購入時にはグリーンマーク商品を優先する 	EA21事務局
従業員の総労働時間の短縮(超過時間の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の連絡会議で実績を把握し、社員へ抑制を促す ・36協定を社員へ周知し、遵守させる 	部門責任者
紙使用量の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド印刷を推奨する ・集約印刷を推奨する ・FAX、複合機管理レポートのデータ受信 	EA21事務局
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・示達時にEA21の教育を行い、社員の意識を高める 	EA21事務局
その他環境活動	<ul style="list-style-type: none"> ・4等級以下の社員に補助を出し、仕出し弁当(スマートミール)の推奨を行い、栄養のバランスをととのへ健康へ配慮する 	EA21事務局

6. 環境経営目標・計画 2018年度実績

項目	単位	基準値 2017年度	2018年度		目標達成率	目標達成の判定
			目標	実績		
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	6,253.85	6,247.68	6,389.23	102%	△
電力使用量の削減	kWh	13,166	13,153	13,451	102%	△
一般廃棄物排出量の削減	kg	376.00	376.00	423.01	113%	×
水使用量 * 2	m ³	8.75	8.74	9.02	103%	△
グリーン購入	%	90.00	89.91	87.00	97%	○
従業員の総労働時間の短縮(超過時間)	h/月/人	20.00	19.98	12.90	65%	○
紙の使用量 * 3	枚	20,000	20000	20,000	100%	○
環境教育	201810の示達で、環境に関するフライヤーを配布し環境活動の意識向上を図った				出席者全員	○
その他環境活動	4等級以下の社員に補助を出し、仕出し弁当(スマートミール)を推奨する スマートミールで栄養のバランスをととのへ健康へ配慮するとともに、ゴミの削減も目指した				本籍社員	○

* 1 二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、0.475kg-CO2/kWh

* 2 水使用量はテナントビルにつき、フロア面積配分による

* 3 紙使用量＝購入量で算出 5000枚単位購入何で現状維持とする

・削減目標

○＝達成(100%未満)、△＝努力した(100以上～110%未満)、×＝未達成(110%以上)

7. 環境経営計画・目標の取組評価と次年度の取組

電力使用量の削減

取組み結果の評価	2018年度はUPS対策や、本社作業人数が増加したため目標が達成できなかった。
次年度の取組み	空調のこまめな設定や、窓にプチシートを張る検討を行う。

一般廃棄物搬出量の削減

取組み結果の評価	2018年度は、本社での作業社員が増えたので、ごみ廃棄量が増えた。
次年度の取組み	スマートミールの推奨や、コンビニに購入品のごみは購入店で捨てるよう推進する。 マイカップ、マイボトルを推奨する。

水使用量

取組み結果の評価	水使用量はテナントビルにつき、フロア面積配分によるので当社だけの取組結果を得ることは難しい。
次年度の取組み	常に節水を心がける。

グリーン購入の推進

取組み結果の評価	2018年度は、目標を達成した。
次年度の取組み	継続して努力する。

従業員の総労働時間の短縮

取組み結果の評価	2018年度は派遣契約が増加したためか超過時間は減少傾向にあり目標を達成した。
次年度の取組み	4月から個人モバイル使用に対して通信手当を支給するので、当日中の打刻を推進して勤務時間の把握を推進する。

電力使用量の削減

取組み結果の評価	2018年度はUPS対策や、本社作業人数が増加したため目標が達成できなかった。
次年度の取組み	空調のこまめな設定や、窓にプチシートを張る検討を行う。

紙使用量の減少

取組み結果の評価	オンデマンド印刷や、集約印刷を推奨した。
次年度の取組み	継続して努力する。

環境教育

取組み結果の評価	10月の示達で、意識向上のフライヤーを配布した。
次年度の取組み	環境に関する理解度テストを導入検討し、さらなる意識向上を目指す。

8. 環境関連法規の遵守状況と違反、訴訟の有無

法律・条令・規則の名称	条項	規制内容等	環境管理責任者評価
廃棄物処理法(略称)	第7条 第12条 第14条 第15条	・産業廃棄物処理業者との委託契約	違反なし
家電リサイクル法(略称)	第6条	・指定家電の廃棄(小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する)	違反なし
小型家電リサイクル法(略称)	第6条	・OA機器の廃棄(認可のリサイクル業者への回収依頼)	違反なし
グリーン購入法(略称)	第5条	・環境物品の購入	違反なし
フロン排出抑制法(略称)	第6条 第19条	・フロン排出抑制法 ・フロン類含有のエアコン・冷水器等の廃棄時には、許可を受けている業者に引き渡し、引取証明書を受ける	違反なし
消防法	法8条 法8条の3	・防火管理者の提出 ・消火設備、避難路の確保	違反なし
労働安全衛生法	第3条 第12条 第71条2 第66条	・職場における労働者の安全と健康を確保 ・衛生管理者の選任 ・快適な職場環境の形成 ・健康診断の実施	違反なし
東京都下水道条例		基準に適合する汚水を流す(油・有害物質をながさない)	違反なし
中央区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	条例第18条	・ごみを可燃不燃資源物に分別する	違反なし

当社が遵守すべき環境関連法規及び条例に対する違反はありませんでした。
また、関係当局から違反などの指摘も過去3年間ありませんでした。
環境に関する訴訟等もありませんでした。
近隣住民からの苦情等もありませんでした。

2018年3月31日

コンピュータロニクス株式会社
環境管理責任者 鵜 康雄

9. 代表者による全体評価と見直し

【全体評価】

- ・ 環境への取り組みは適切に実施されているか
⇒ 従業員の総労働時間の短縮(超過時間の削減)、電力使用量の削減、廃棄物の削減等については、適切に取り組みが行われています。
- ・ 環境経営システムが有効に機能しているか
⇒ システムについて問題なく有効に機能している。

【見直し】

- ・ 環境経営方針
⇒ 変更の必要性: 有 無
- ・ 環境経営方針・環境経営計画
⇒ 変更の必要性: 有 無
〔活動の質の向上に努めてください〕
- ・ その他の環境経営システム等
⇒ 変更の必要性: 有 無
〔エコアクション21 ガイドライン2017年版に基づき推進してください〕

今年度の環境活動の目標はほぼ達成できました。
しかし、電気使用量や紙の使用量等の削減については長年の活動により、大幅な削減は見込めなくなりました。
今後はさらに、従業員一人ひとりが環境活動の推進への意識向上をもてるように、また健康状態や技術向上を意識し活動を構築推進してください。

2019年4月19日

コンピュータニクス株式会社

代表取締役 北田 孝志